
令和7年度(2025年度) 入学者選抜試験要項

1. 総合型選抜入試
2. 学校推薦型選抜入試
3. 一般選抜入試
4. 一般選抜入試 大学入学共通テスト利用
5. 特別選抜入試 卒業生子女・帰国子女・社会人・編入学



商学部

法学部

現代教養学部

建学の精神：公正な社会観と倫理観の涵養

教育の理念：少数教育を通じて公正な社会観と倫理観を涵養し、人権感覚や共生意識を育む
ことにより、複雑化する現代社会を生き抜くための実力と創造力を備え、
社会に貢献できる有能な人材を育成する

目次

共通事項

1. 募集定員および日程	1
2. 出願における注意事項等	2
3. 受験における注意事項等	2
4. 納入金／特待生	3
5. 出願から入学手続までの流れ	5
6. Web出願	6
7. 受験票の印刷	6
8. 合格発表	6
9. 入学手続	7

総合型選抜入試

1. 一般	8
2. スポーツ、文化	10
3. 調査書における評価対象	13

学校推薦型選抜入試

1. 公募制	11
2. 指定校	12
3. 調査書における評価対象	13

一般選抜入試

1. 1期（3科目判定／2科目判定）	14
2. 2期（自由選択試験）	15
3. 3期（3科目判定／2科目判定）	16
4. 4期（自由選択試験）	17
5. 出題教科、科目について	18
6. 英語外部検定スコアの利用に関する取り扱いについて	19
7. 併願について	21

一般選抜入試 大学入学共通テスト利用

1. 1期／2期／3期	20
2. 併願について	21

特別選抜入試

1. 卒業生子女	22
2. 帰国子女試験	23
3. 社会人	24
4. 編入学試験	25

教育理念と3つのポリシー

1. 商学部	26
2. 法学部	27
3. 現代教養学部	29

（本学の建学の精神、教育の理念は表紙に記載）

共通事項

■ 学部・学科および定員

学部・学科	定員
商学部・商学科	360 名
法学部・法学科	260 名
現代教養学部・現代教養学科	100 名

■ 日程

試験区分および募集方法			募集人員			出願期間	試験日	合格発表	入学手続期間
			商学部 商学科	法学部 法学科	現代教養学部 現代教養学科				
総合型選抜	一般	1 期 ＜注1＞	75名	60名	25名	9月20日(金) ～ 10月 3日(木)	10月12日(土)	11月 1日(金)	11月 1日(金) ～ 11月15日(金)
		2 期				11月 4日(月) ～ 11月15日(金)	11月23日(土)	12月 2日(月)	12月 2日(月) ～ 12月13日(金)
		3 期				11月25日(月) ～ 12月 6日(金)	12月14日(土)	12月17日(火)	12月17日(火) ～ 12月25日(水)
		4 期				1月20日(月) ～ 2月 7日(金)	2月15日(土)	2月18日(火)	2月18日(火) ～ 2月28日(金)
		5 期				2月17日(月) ～ 3月 6日(木)	3月12日(水)	3月14日(金)	3月14日(金) ～ 3月21日(金)
	スポーツ・文化	1 期	50名	25名	若干名	9月20日(金) ～ 10月 3日(木)	10月12日(土)	11月 1日(金)	11月 1日(金) ～ 11月15日(金)
		2 期				11月 4日(月) ～ 11月15日(金)	11月23日(土)	12月 2日(月)	12月 2日(月) ～ 12月13日(金)
		3 期				1月20日(月) ～ 2月 7日(金)	2月15日(土)	2月18日(火)	2月18日(火) ～ 2月 28日(金)
学校推薦型選抜	公募制	1 期	10名	10名	5名	11月 1日(金) ～ 11月 8日(金)	11月16日(土)	12月 2日(月)	12月 2日(月) ～ 12月13日(金)
		2 期				11月20日(水) ～ 12月 6日(金)	12月14日(土)	12月17日(火)	12月17日(火) ～ 12月25日(水)
	指定校	1 期	65名	50名	15名	11月 1日(金) ～ 11月 8日(金)	11月16日(土)	12月 2日(月)	12月 2日(月) ～ 12月13日(金)
		2 期				11月20日(水) ～ 12月 6日(金)	12月14日(土)	12月17日(火)	12月17日(火) ～ 12月25日(水)
一般選抜	1 期	3科目判定	30名	25名	10名	12月16日(月) ～ 1月22日(水)	<A日程> 1月30日(木) <B日程> 1月31日(金)	2月 7日(金)	2月 7日(金) ～ 2月21日(金)
		2科目判定	20名	15名	10名				
	2 期	自由選択	10名	10名	5名	12月16日(月) ～ 2月 4日(火)	2月 10日(月)	2月14日(金)	2月14日(金) ～ 2月28日(金)
		3科目判定	10名	10名	5名	1月23日(木) ～ 2月18日(火)	2月22日(土)	2月28日(金)	2月28日(金) ～ 3月12日(水)
		2科目判定	10名	10名	5名				
	4 期	自由選択	5名	5名	5名	2月19日(水) ～ 3月14日(金)	3月21日(金)	3月22日(土)	3月22日(土) ～ 3月26日(水)
	大学入学共通テスト 利用選抜	1 期	20名	15名	10名	12月16日(月) ～ 2月 6日(木)	大学入学共通テスト 試験日 1月18日(土) 1月19日(日)	2月14日(金)	2月14日(金) ～ 2月21日(金)
		2 期	10名	5名	5名	2月 7日(金) ～ 2月20日(木)		2月28日(金)	2月28日(金) ～ 3月12日(水)
		3 期	5名	5名	若干名	2月21日(金) ～ 3月 7日(金)		3月14日(金)	3月14日(金) ～ 3月20日(木)

＜注1＞総合型選抜一般1期では専願型および他大学併願型を実施します

※ Webからの出願登録および検定料の支払いは出願期間最終日15時までです。

※ 提出書類はすべて郵送必着です。

※ 出願期間最終日のみ窓口受付を実施します。

※ 選抜日程・選考方法等については変更する場合があります、その際は、本学ホームページを通じてお知らせいたします。

■ 出願資格

< 総合型選抜入試 / 特別選抜入試 >

各選抜区分のページにてご確認ください。

< 学校推薦型選抜入試 / 一般選抜入試（大学入学共通テスト利用含む） >

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者、および令和7年3月卒業見込みの者。
 - (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者、および令和7年3月修了見込みの者。
 - (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者、および令和7年3月修了見込みの者。
またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの。
 - (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者、
および令和7年3月修了見込みの者。
 - (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限り）で、
文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者。
 - (6) 文部科学大臣の指定した者。
 - (7) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者、および令和7年3月までに合格見込み
の者。（旧規定による大学入学資格検定に合格した者を含む）
 - (8) その他相当の年齢に達し、本学において高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者。
- ※ 当出願資格に加え、各選抜区分における出願要件も確認してください。

■ 出願における注意事項

- (1) すべてWeb出願となります。
- (2) 出願期間最終日のみ窓口受付を実施します。
提出窓口：中央学院大学 入試広報課（本館2階）
時間：10時から16時
- (3) 提出された出願書類や納入された入学検定料は、返還いたしません。
- (4) 出願後の学部・コース等の変更は認めません。
- (5) 視力・聴力等に障害のある方で、受験に際して特に配慮を必要とする場合は、事前に入試広報課へご相談ください。

■ 試験当日の注意事項

- (1) 集合時刻・場所等の詳細については、受験票にてご確認ください。
- (2) 試験場の開門は集合時刻1時間前、試験室への入室は集合時刻30分前からとします。当日の案内係にしたがってください。
- (3) 我孫子駅北口より無料スクールバスを運行します。混雑が予想されますので時間には余裕を持って行動してください。
運行ダイヤについては、本学ホームページにてご確認ください。
- (4) 受験票、筆記用具（HBの鉛筆等・消しゴム）を必ず持参してください。上履き等は必要ありません。
- (5) 受験票を忘れた場合は、総合案内へ申し出てください。
- (6) 試験開始後20分まで遅刻を認めます。ただし、このための試験時間の延長は認めません。
- (7) 試験中の途中退室は原則として認めません。やむをえない場合は試験監督者の指示にしたがってください。
- (8) 学生食堂の営業は行いません。各自、必要に応じて昼食等の準備をしてください。
- (9) 受験者以外は試験室へ入室できません。
- (10) 試験室内における携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末等の電子機器類の使用は禁止です。
<時計としての使用不可>

■ 試験場

中央学院大学（試験はすべて本学において実施します）

所在地 〒270-1196 千葉県我孫子市久寺家 451

（連絡先） 中央学院大学 入試広報課 TEL. 04-7183-6516 <直通>

交通機関 <電車の場合>

- ・ JR 常磐線、JR 成田線、東京メトロ千代田線直通「我孫子」駅下車
北口より無料スクールバスにて約 7 分、または徒歩約 20 分

（試験日当日は特別ダイヤで運行します。1 週間前を目安に HP の交通案内をご確認ください。）

<車の場合>

- ・ 本学正門前の駐車場（無料）へ駐車してください。

■ 受験時における宿泊先

本学では、宿泊施設等の斡旋は行っておりませんが、主な周辺宿泊施設をご案内しますので、ご参照ください。

ホテル名	最寄駅	電話番号	備考
柏プラザホテル	柏	04-7147-1111	柏駅南口徒歩 1 分
ザ・クレストホテル柏	柏	04-7146-1111	柏駅西口徒歩 2 分
ホテルマークワンアピコ	天王台	04-7186-1717	天王台駅北口徒歩 1 分
セントラルホテル取手	取手	0297-72-1123	取手駅東口徒歩 2 分

■ 納入金

<初年度納入金>

			入学手続時納入金	後期納入金	初年度納入金
入 学 金 ※1			260, 000	—	260, 000
授 業 料 ※2			380, 000	380, 000	760, 000
施 設 設 備 費			300, 000	—	300, 000
代 理 徴 収 金	学生会費	入会金 ※1	500	—	500
		年会費	3, 000	—	3, 000
	後援会費	入会金 ※1	15, 000	—	15, 000
		年会費	15, 000	—	15, 000
	学友会費		10, 000	—	10, 000
	学生教育研究災害傷害保険料 ※1 ※3		3, 300	—	3, 300
	学研災付帯賠償責任保険料 ※1 ※3		1, 360	—	1, 360
合 計			988, 160	380, 000	1, 368, 160

本学を卒業した者の子女または兄弟姉妹が本学を卒業・在籍している場合は、入学金の減免制度があります。

詳しくは、入試広報課（TEL:04-7183-6516）までお問い合わせください。

※1 初年度のための納入金 ※2 授業料は入学手続時と後期（各 380,000 円）に分納することができます。

※3 編入学で 3 年次編入の場合は学生教育研究災害傷害保険料 1,750 円、学研災付帯賠償責任保険料 680 円となります。

<次年度以降納入金>

			前期納入金	後期納入金	年間納入金
授 業 料			380, 000	380, 000	760, 000
施 設 設 備 費			300, 000	—	300, 000
代理 徴 収 金	学生会費	年会費	3, 000	—	3, 000
	後援会費	年会費	15, 000	—	15, 000
	学友会費		10, 000	—	10, 000
合 計			708, 000	380, 000	1, 088, 000

■ 特待生

対象		特典
総合型選抜入試 ＜一般＞	成績優秀者	第4種：入学金 26 万円の納入免除
総合型選抜入試 ＜スポーツ・文化＞		第1種：入学金・年間授業料・施設設備費の合計 132 万円の納入免除 第2種：入学金・年間授業料の合計 102 万円の納入免除 第3種：入学金・前期授業料の合計 64 万円の納入免除 第4種：入学金 26 万円の納入免除
学校推薦型選抜入試 ＜公募制・指定校＞		第2種：入学金・年間授業料の合計 102 万円の納入免除 第3種：入学金・前期授業料の合計 64 万円の納入免除
一般選抜入試 (大学入学共通テスト利用含む)		第2種：入学金・年間授業料の合計 102 万円の納入免除 第3種：入学金・前期授業料の合計 64 万円の納入免除 第4種：入学金 26 万円の納入免除

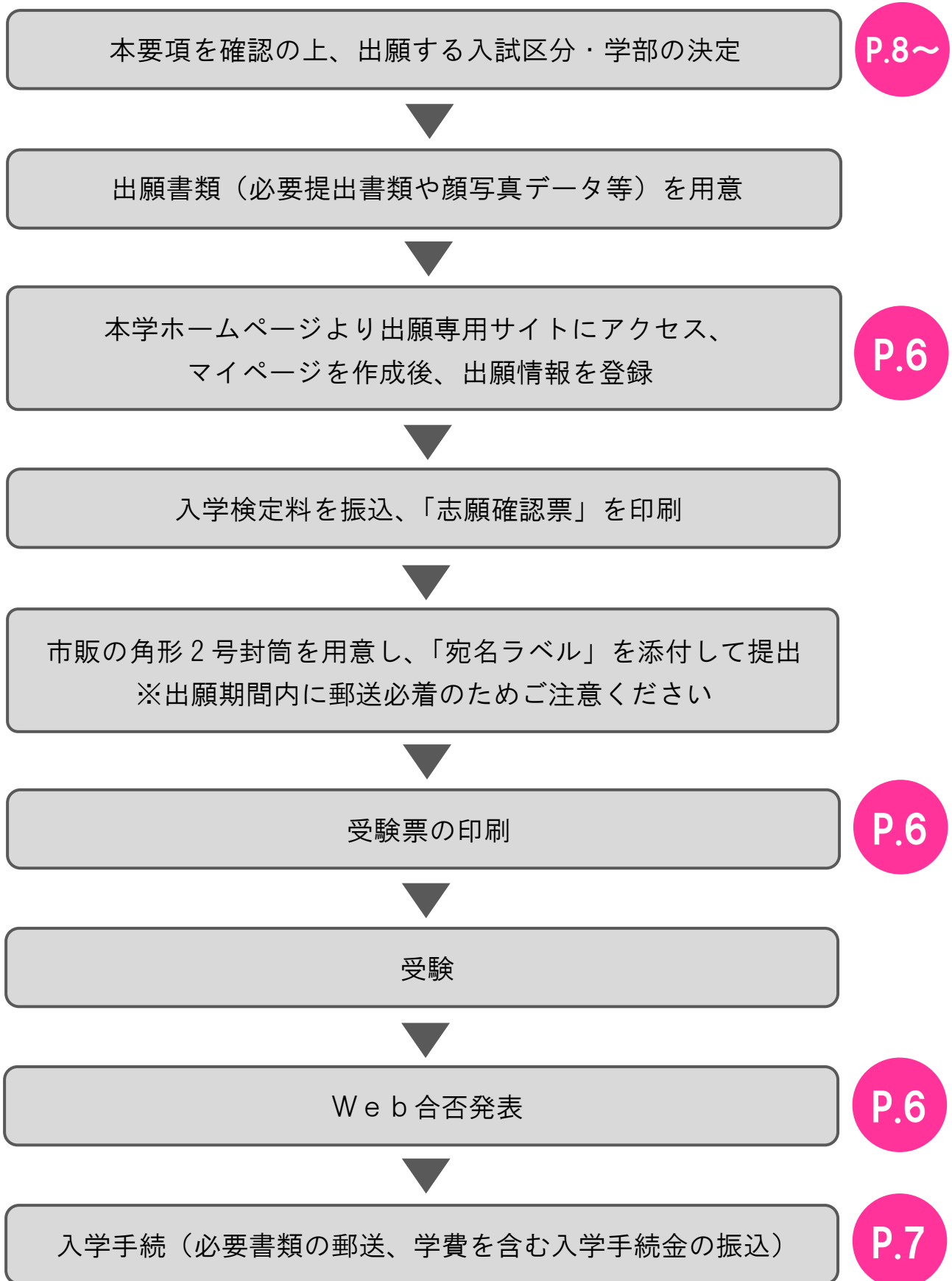
追加特典

総合型選抜入試および学校推薦型選抜入試における特待生の中から、本学アクティブセンターが開講する資格取得講座の受講料が無料となる権利（2 講座、4 年間有効）を特典として付与します。

■ 個人情報の取扱い

出願を通して収集した住所・氏名等の個人情報は、入学に関する資料の発送や統計的集計にのみ利用いたします。個人情報は厳重に管理いたします。

出願から入学手続までの流れ



■ 出願方法（Web出願）

出願期間内であればいつでも出願は可能です。（ただし、出願書類の提出締切日にはご注意ください）

（1）事前準備

- ・パソコン、スマートフォンなどインターネットにつながる環境およびプリンター
- ・出身学校調査書等の提出書類

※ 選抜区分によって提出書類が異なります。必ず各選抜区分のページを確認してください。

※ 総合型選抜入試（スポーツ・文化）、学校推薦型選抜入試（指定校、付属校）の出願時には認証コードが必要となります。認証コードは別途お知らせいたします。

（2）Web出願サイトへアクセス

- ・各出願期間に本学ホームページよりWeb出願サイトへアクセスしてください。

※ Web出願は土日・祝日問わず24時間可能です。

ただし、出願期間最終日は15時までとなりますので、ご注意ください。

（3）マイページの作成

- ・顔写真データや個人情報など必要事項を入力し、マイページを作成します。

＜顔写真データ提出の注意事項＞

※ 出願3ヶ月以内に撮影したもので、正面、脱帽、背景は無地（白、青またはグレー）に限ります。

※ 胸より上から頭まですべて入っている写真に限ります。

※ 壁に近づきすぎると、影が濃く出て、輪郭が不明瞭になる恐れがあります。

※ フラッシュを使用すると顔全体が白くなり過ぎ、陰影がなくなる場合があります。

※ 個人が特定しづらいものは使用できません。

（4）出願する選抜方法を選択

出願期間中にマイページへログインし、選抜方法・志望学部等を登録してください。

（5）検定料の支払い

- ・クレジットカード、コンビニエンスストア、ペイジーの3種類の支払い方法が選択できます。

（6）必要書類の印刷

- ・マイページにログインし、『出願状況の確認』から「志願確認票」「宛名ラベル」を印刷してください。

※ 併願の場合、「志願確認票」はすべて印刷し、「宛名ラベル」はいずれか1枚を印刷してください。

（7）必要書類の郵送

- ・印刷した「志願確認票」とその他必要書類をあわせて出願期間内に「簡易書留・速達」で郵送してください。

- ・郵送用の封筒は市販の角2封筒をご用意いただき、印刷した「宛名ラベル」を貼付してください。

※ 選抜区分によって提出書類が異なります。必ず各選抜区分のページを確認してください。

※ 提出書類は出願期間内に郵送必着です。出願期間最終日には本学窓口でも受付をします。（16時まで）

■ 受験票の印刷

受験票の準備が整ったら、登録したメールアドレスに通知が届きます。Web出願サイトのログイン画面へ進み、マイページ内『出願状況の確認』から受験票をダウンロードし、印刷して試験当日必ず持参してください。

■ 合格発表

インターネット

発表当日10時より本学ホームページからWeb出願サイトのログイン画面へ進み、マイページ内『出願状況の確認』から合否の確認ができます。なお、合否に関して電話・本学窓口等による問い合わせには一切応じることはできません。

追加合格について

一般選抜入試（大学入学共通テスト利用含む）では追加合格の可能性のある者に対して「追加合格候補者」という通知を行います。

追加合格とは、合格者の入学手続状況により入学予定者に欠員が生じた場合に入学を許可されるものであり、追加合格になった場合は、本学より連絡をいたします。

なお、追加合格候補者の人数や順位等についての問い合わせには一切応じることはできません。

■ 入学手続

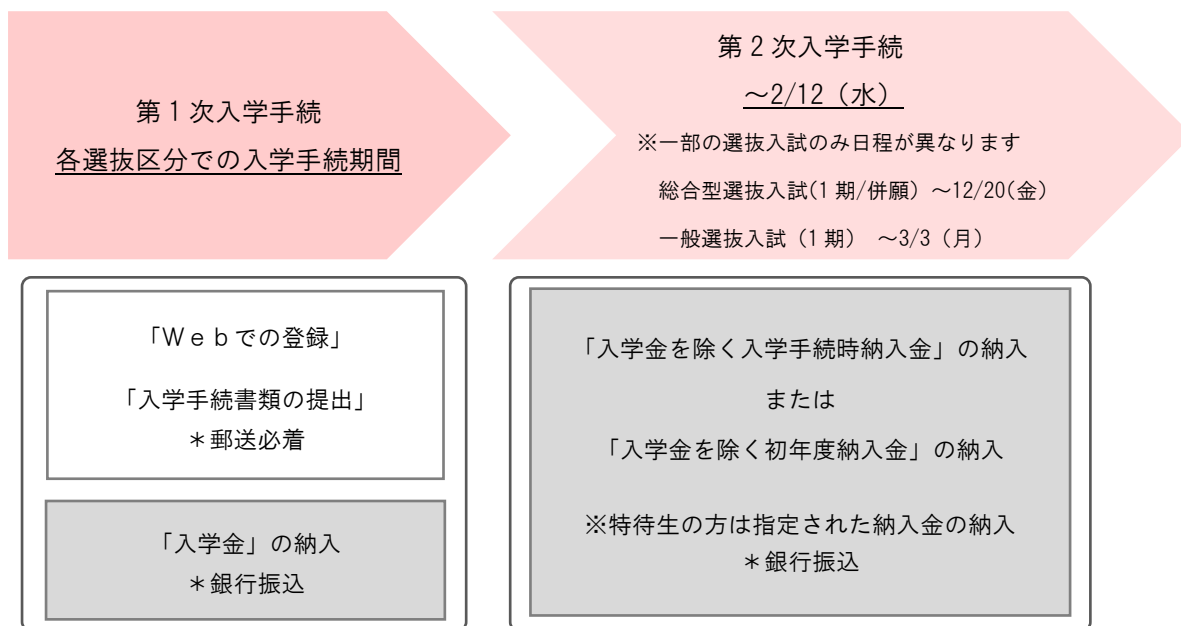
< 入学手続についての注意事項 >

- (1) Web出願サイト内『出願状況の確認』から合否を確認し、案内にしたがって入学手続サイトに進んでください。
必ず、指定の入学手続締切日までに入学手続を完了させてください。
(本学ホームページ>Web出願サイト>入学手続サイト※入学手続は合格者のみ確認可能)
- (2) 入学手続に関する詳細は、「入学手続の手引き」に記載します(入学手続サイトからダウンロード)。
- (3) 入学手続は「入学手続時納入金の納入」と「Webでの登録」、「入学手続書類の提出」により完了となります。

< 入学手続時納入金の納入方法および手続概要 > ※納入金の詳細は本要項 P.3 にてご確認ください。

二段階納入による入学手続

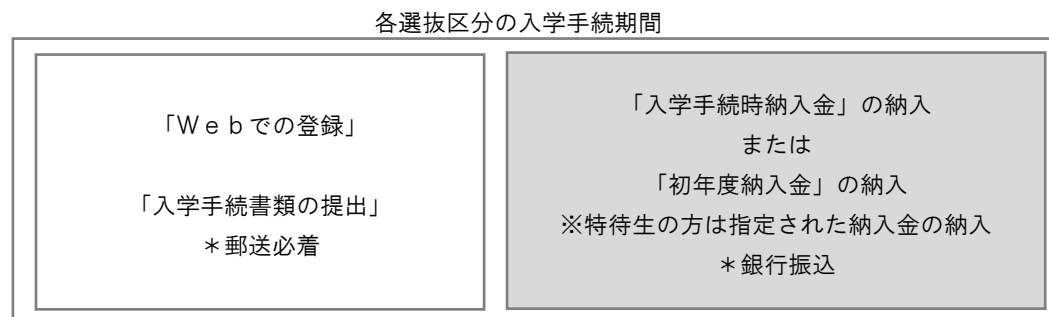
対象：総合型選抜入試(一般1期～3期、スポーツ・文化1期・2期)、学校推薦型選抜入試、特別選抜入試、一般選抜入試(1期のみ)



※第1次入学手続が確認でき次第、「入学許可書」をWeb上で順次発行いたします。

一括納入による入学手続

対象：総合型選抜入試(一般4期・5期、スポーツ・文化3期)、一般選抜入試(大学入学共通テスト利用含む)



※すべての入学手続が確認でき次第、「入学許可書」をWeb上で順次発行いたします。

< 入学辞退について >

入学手続完了後に入学を辞退する場合は、令和7年3月31日(月)〈郵送必着〉までに所定の入学辞退届を提出してください。
総合型選抜入試(一般1期(他大学併願型))、学校推薦型選抜入試(公募制)、一般選抜入試、特別選抜入試(帰国子女試験・編入学試験)では、入学金を除く全ての納入金(授業料・施設設備費・代理徴収金)を返還いたします。
なお、総合型選抜入試(※一般1期(他大学併願型)を除く)、学校推薦型選抜入試(指定校)、特別選抜入試(卒業生子女)では、代理徴収金のみの返還となります。詳細は「入学手続の手引き」にて、ご確認ください。

総合型選抜入試 < 一般 >

■ 日程

	出願期間 * 郵送必着	試験日	合格発表	入学手続期間 * 郵送必着
1 期	9月20日(金) ~ 10月 3日(木)	10月12日(土)	11月 1日(金)	11月 1日(金) ~ 11月15日(金)
2 期	11月 4日(月) ~ 11月15日(金)	11月23日(土)	12月 2日(月)	12月 2日(月) ~ 12月13日(金)
3 期	11月25日(月) ~ 12月 6日(金)	12月14日(土)	12月17日(火)	12月17日(火) ~ 12月25日(水)
4 期	1月20日(月) ~ 2月 7日(金)	2月15日(土)	2月18日(火)	2月18日(火) ~ 2月28日(金)
5 期	2月17日(月) ~ 3月 6日(木)	3月12日(水)	3月14日(金)	3月14日(金) ~ 3月21日(金)

■ 出願要件

〔1 期(専願型)、2 期～5 期〕

- 中央学院大学の教育理念およびアドミッションポリシーを理解し、本学への入学を第一志望とする者。(専願)
- 日本の高等学校または中等教育学校を令和 6 年 3 月に卒業した者および令和 7 年 3 月卒業見込みの者。
- 次のいずれかに該当する者。
 - ・ 本学の教育分野に関して積極的な勉学意欲のある者
 - ・ 高度な資格や優れた技能をもつ者
 - ・ スポーツ・文化・芸術等の活動において優れた能力をもつ者
 - ・ 高等学校内外において指導的役割を果たした者
 - ・ 社会的貢献活動の経験がある者

〔1 期(他大学併願型)〕

- 中央学院大学の教育理念およびアドミッションポリシーを理解する者。
- 日本の高等学校または中等教育学校を令和 6 年 3 月に卒業した者および令和 7 年 3 月卒業見込みの者。
- 次のいずれかに該当する者。
 - ・ 本学の教育分野に関して積極的な勉学意欲のある者
 - ・ 高度な資格や優れた技能をもつ者
 - ・ スポーツ・文化・芸術等の活動において優れた能力をもつ者
 - ・ 高等学校内外において指導的役割を果たした者
 - ・ 社会的貢献活動の経験がある者

■ 出願書類

- 志願確認票
- 出願シート (本学 HP よりダウンロード、A4 サイズ・片面印刷)
- 出身学校調査書
- 証明書類〈賞状等のコピー〉(A4 サイズ、該当者のみ)

■ 入学検定料

35,000 円

■ 選抜方法

「書類審査」：(1) 出願シート (2) 出身学校調査書

「面接審査」：グループ面接を行います。(約 20 分・面接官 2 名・受験生 3～5 名)

■ 特待生制度

成績優秀者の方には審査結果に応じて特典を付与します。詳細は本要項 P. 4 にてご確認ください。

■ 入学前教育

大学入学後の学びに向かうモチベーションを高めると共に、大学生としての課題や目的を発見できるよう入学手続完了者には「入学前教育」を実施します。

※ 実施時期は令和 7 年 1 月～3 月を予定しています。詳細は入学手続き時にご案内します。

(4 期、5 期試験での入学者は対象外となります。)

総合型選抜入試 < スポーツ・文化 >

■ 日程

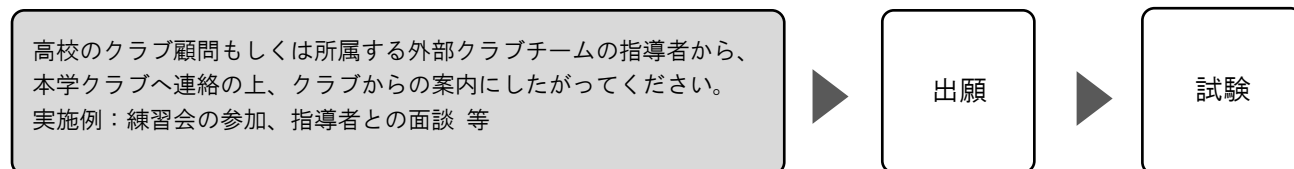
	出願期間 * 郵送必着	試験日	合格発表	入学手続期間 * 郵送必着
1 期	9月20日(金) ~ 10月 3日(木)	10月12日(土)	11月 1日(金)	11月 1日(金) ~ 11月15日(金)
2 期	11月 4日(月) ~ 11月15日(金)	11月23日(土)	12月 2日(月)	12月 2日(月) ~ 12月13日(金)
3 期	1月20日(月) ~ 2月 7日(金)	2月15日(土)	2月18日(火)	2月18日(火) ~ 2月28日(金)

■ 出願要件

1. 中央学院大学の教育理念およびアドミッションポリシーを理解し、本学への入学を第一志望とする者。(専願)
2. 日本の高等学校または中等教育学校を令和6年3月に卒業した者および令和7年3月卒業見込みの者。
3. 本学が指定する次のスポーツ競技種目および文化活動において将来性があり、本学入学後も当該活動を継続する意志のある者。

【強化指定クラブ】●駅伝部 ●硬式野球部 ●ゴルフ部 ●サッカー部 ●バレーボール部 ●吹奏楽団 ●チアリーディング部

■ 「スポーツ・文化」の流れ



■ 出願書類

1. 志願確認票
2. 出願シート
(本学 HP よりダウンロード、A4 サイズ・片面印刷)
3. 出身学校調査書
4. 証明書類〈賞状等のコピー〉(A4 サイズ、該当者のみ)
※本要項 P13 に記載されている評価対象のうち
該当項目(スポーツ・文化)に関する書類は提出不要です。

■ 選抜方法

- 「書類審査」：(1) 出願シート
(2) 出身学校調査書
- 「面接審査」：グループ面接を行います。
(約 20 分・面接官 2 名・受験生 3~5 名)

■ 入学検定料 35,000 円

■ 特待生制度

成績優秀者の方には審査結果に応じて次の第1種~第4種いずれかの特典を付与します。
※ すべての合格者に特典を付与するものではありません。 ※ 奨学金の支給は該当項目の納入免除により、これに代えるものとします。

	入学金 26 万円	前期授業料 38 万円	後期授業料 38 万円	施設設備費 30 万円
第1種	免除	免除	免除	免除
第2種	免除	免除	免除	
第3種	免除	免除		
第4種	免除			

■ 入学前教育

大学入学後の学びに向かうモチベーションを高めると共に、大学生としての課題や目的を発見できるよう入学手続完了者には「入学前教育」を実施します。実施時期は令和7年1月~3月を予定しています。詳細は入学手続時にご案内します。(3期試験での入学者は対象外となります。)

学校推薦型選抜入試 < 公募制 >

※他大学との併願可

■ 日程

	出願期間 * 郵送必着	試験日	合格発表	入学手続期間 * 郵送必着
1 期	11月 1日(金) ~ 11月 8日(金)	11月16日(土)	12月 2日(月)	12月 2日(月) ~ 12月13日(金)
2 期	11月20日(水) ~ 12月 6日(金)	12月14日(土)	12月17日(火)	12月17日(火) ~ 12月25日(水)

■ 出願要件

1. 日本の高等学校（中等教育学校の後期課程を含む）を令和6年3月に卒業した者および令和7年3月卒業見込みの者。
2. 全体の学習成績の状況（評定平均値）が3.0以上で出身学校長の推薦を受けることができる者。
※ 学習成績について、令和7年3月卒業見込みの者は第3学年1学期（2学期制にあっては前期）まで、令和6年3月卒業者は卒業時のものとします。

■ 出願書類

1. 志願確認票
2. 活動報告書（本学 HP よりダウンロード、A4 サイズ）
3. 出身学校調査書
4. 出身学校長推薦書（本学 HP よりダウンロード、A4 サイズ）
5. 事前課題（本学 HP よりダウンロード、A4 サイズ）
6. 証明書類（賞状等のコピー）（A4 サイズ、該当者のみ）

■ 入学検定料

35,000 円

■ 特待生制度

成績優秀者の方には審査結果に応じて特典を付与します。詳細は本要項 P.4 にてご確認ください。

■ 選抜方法

「書類審査（出身学校調査書等）」と「面接審査」との総合評価により合否判定を行います。

■ 入学前教育

大学入学後の学びに向かうモチベーションを高めると共に、大学生としての課題や目的を発見できるよう入学手続完了者には「入学前教育」を実施します。

※ 実施時期は令和7年1月～3月を予定しています。詳細は入学手続時にご案内します。

学校推薦型選抜入試 ＜ 指定校 ＞

■ 日程

	出願期間 * 郵送必着	試験日	合格発表	入学手続期間 * 郵送必着
1 期	11月 1日(金) ～ 11月 8日(金)	11月16日(土)	12月 2日(月)	12月 2日(月) ～ 12月13日(金)
2 期	11月20日(水) ～ 12月 6日(金)	12月14日(土)	12月17日(火)	12月17日(火) ～ 12月25日(水)

■ 出願要件

各指定校に個別通知。(専願)

※出願には各学校へ通知している「認証コード」の入力が必要です。

■ 出願書類

1. 志願確認票
2. 活動報告書(本学 HP よりダウンロード、A4 サイズ)
3. 出身学校調査書
4. 出身学校長推薦書(指定校専用)
5. 事前課題(本学 HP よりダウンロード、A4 サイズ)
6. 証明書類(賞状等のコピー)(A4 サイズ、該当者のみ)

■ 入学検定料

35,000 円

■ 特待生制度

成績優秀者の方には審査結果に応じて特典を付与します。詳細は本要項 P. 4 にてご確認ください。

■ 選抜方法

「書類審査(出身学校調査書等)」および「面接」による総合評価により合否判定を行います。

「面接審査」について：高校時代の様々な経験や活動の成果とともに、大学入学後の目標や将来の進路の実現に役立つ学生生活を送ろうとする意識・意欲およびその能力を評価します。

＜面接方法＞

受験生3～5名に対して面接官2名による約 20 分間の面接とします。

■ 入学前教育

大学入学後の学びに向かうモチベーションを高めると共に、大学生としての課題や目的を発見できるよう入学前教育を実施します。

※ 実施時期は令和 7 年 1 月～3 月を予定しています。詳細は入学手続き時にご案内します。

調査書における評価対象(総合型選抜入試・学校推薦型選抜入試)

本学の基準により、活動報告書、学習成績の状況、出身学校調査書等への記載内容をそれぞれ点数化します。

＜資格・検定等＞ 下記の項目に該当する場合は証明書（賞状等）コピーを添付してください。

該当項目	評価対象
資格・検定	【3学部共通】 【簿記検定分野】 ○ 簿記検定（日本商工会議所）3級以上 ○ 簿記実務検定（全国商業高等学校協会）2級以上 ○ 簿記能力検定（全国経理教育協会）2級以上 【情報処理関連分野】 ○ 情報処理検定（全国商業高等学校協会）2級以上 ○ 情報技術検定（全国工業高等学校長協会）2級以上 ○ ITパスポート試験（情報処理推進機構）合格 ○ 基本情報技術者試験（情報処理推進機構）合格 ○ パソコン利用技術検定（全国工業高等学校長協会）2級以上 【ビジネス系検定分野】 ○ ビジネス実務法務検定（東京商工会議所）3級以上 ○ リテールマーケティング（販売士）検定（日本商工会議所）3級以上 ○ 商業経済検定（全国商業高等学校協会）2級以上 ○ ビジネス文書実務検定（全国商業高等学校協会）2級以上 ○ 秘書技能検定（実務技能検定協会）2級以上 【英語検定分野】 ○ 実用英語技能検定（日本英語検定協会）準2級以上 ○ 英語検定（全国商業高等学校協会）3級以上 ○ TOEFL iBT (ETS Japan) 42点以上 ○ 国際連合公用英語検定（日本国際連合協会）C級以上 【商学部のみ】 【情報処理関連分野】 ○ ICTプロフィシエンシー検定（ICTプロフィシエンシー検定協会）準2級以上 【ビジネス系検定分野】 ○ 日本語ワープロ検定（日本情報処理検定協会）2級以上 【英語検定分野】 ○ GTEC（ベネッセコーポレーション）4技能版480点以上 ○ TOEIC L&R（一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会）170点以上または TOEIC L&R + S&W（一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会）475点以上 ○ IELTS（日本英語検定協会）3.5以上 ○ TEAP（日本英語検定協会）135点以上 ○ TEAP CBT（日本英語検定協会）235点以上 ○ ケンブリッジ英語検定（一般財団法人日本ケンブリッジ英語検定機構）110点以上 【法学部・現代教養学部のみ】 【情報処理関連分野】 ○ ICTプロフィシエンシー検定（ICTプロフィシエンシー検定協会）3級以上 【ビジネス系検定分野】 ○ 日本語ワープロ検定（日本情報処理検定協会）1級以上 【英語検定分野】 ○ GTEC（ベネッセコーポレーション）3技能版450点以上または4技能版690点以上 ○ TOEIC（一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会）400点以上または TOEIC Bridge（一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会）70点以上 【法学検定分野】 ○ 法学検定（法学検定試験委員会）ベーシック（基礎） 【歴史検定分野】 ○ 歴史能力検定（歴史能力検定協会）日本史または世界史3級以上 【漢字検定分野】 ○ 日本漢字能力検定（日本漢字能力検定協会）準2級以上 【日本語検定分野】 ○ 日本語検定（日本語検定委員会）2級以上 【時事検定分野】 ○ ニュース時事能力検定（日本ニュース時事能力検定協会）3級以上
スポーツ	都道府県以上の大会において正選手として出場し、4位以内の成績を収めた者
文化	都道府県レベル以上のコンクール・展覧会等において優秀な成績を収めた者

＜調査書記載項目（学校推薦型選抜のみ）＞

対象書類	該当項目	評価対象
調査書	特別活動の記録	学内で委員長・部長などの指導的役割を1年間以上果たした者
	指導上参考となる諸事項	部活動、ボランティア活動、取得資格等
	資格	3級以上に相当する資格（主催団体・種目は問いません）
	スポーツ	都道府県大会等における成績
	文化	コンクール・展覧会等における成績
	その他	その他記載された内容

※各選抜入試により評価基準が異なります。

一般選抜入試 ＜ 1期・3科目判定／2科目判定 ＞

■ 日程

出願期間 * 郵送必着	試験日	合格発表	入学手続期間 * 郵送必着
12月16日(月) ～ 1月22日(水)	＜ A 日程 ＞ 1月30日(木) ＜ B 日程 ＞ 1月31日(金)	2月7日(金)	2月7日(金) ～ 2月21日(金)

■ 試験当日のスケジュール

外国語、国語、選択科目の筆記試験は各 60 分です。

※ 集合時刻、時間割については受験票をご確認ください。

■ 出願要件

本要項共通事項 (P. 2) に記載されている「出願資格」の (1) ～ (8) のいずれかに該当する者。

■ 出願書類

1. 志願確認票
2. 出身学校調査書 ※1 ※2

■ 入学検定料

35,000 円 ※3

※1 学部の併願および複数回受験する場合、「出身学校調査書」は1通で結構です。「志願確認票」はすべて印刷し、同封してください。

※2 高等学校卒業程度認定試験（大検含む）の合格者は、合格成績証明書（厳封されたもの）を提出してください。

※3 複数回受験する場合、入学検定料が減額されます。ただし、この減額制度は一括して出願した場合のみ有効となります。詳細は本要項 P. 21 にてご確認ください。

■ 選抜方法 ※出題科目・教科については本要項 P.18 にてご確認ください。

< 3 科目判定 >

各日程の3科目試験における外国語、国語、選択科目の総合得点により合否判定を行います。(3科目を受験しなかった場合は、合否判定対象外とします)。なお、複数日程において同一学部を併願している場合は、一番高い総合得点を合否判定の対象とします。

< 2 科目判定 >

各日程の3科目試験における外国語、国語、選択科目より得点上位2科目の合計得点により合否判定を行います。(3科目を受験しなかった場合は、合否判定対象外とします)。なお、複数日程において同一学部を併願している場合は、一番高い総合得点を合否判定の対象とします。

※ 選択科目は日程ごとに選択できる科目が異なります。

※ 一般選抜入試（1期）における出身学校調査書等の取り扱いについては参考程度とします。

※ 令和7年度一般選抜入試については、旧課程履修者に配慮して出題いたします。

一般選抜入試 < 2期・自由選択試験 >

■ 日程

出願期間 * 郵送必着	試験日	合格発表	入学手続期間 * 郵送必着
12月16日(月) ~ 2月4日(火)	2月10日(月)	2月14日(金)	2月14日(金) ~ 2月28日(金)

■ 試験当日のスケジュール

自由選択試験の筆記試験は 90 分です。

※ 集合時刻、時間割については受験票をご確認ください。

■ 出願要件

本要項共通事項 (P. 2) に記載されている「出願資格」の (1) ~ (8) のいずれかに該当する者。

■ 出願書類

1. 志願確認票
2. 出身学校調査書 ※1 ※2

■ 入学検定料

35,000 円 ※3

※1 学部の併願および複数回受験する場合、「出身学校調査書」は 1 通で結構です。「志願確認票」はすべて印刷し、同封してください。

※2 高等学校卒業程度認定試験（大検含む）の合格者は、合格成績証明書（厳封されたもの）を提出してください。

※3 複数回受験する場合、入学検定料が減額されます。ただし、この減額制度は一括して出願した場合のみ有効となります。詳細は本要項 P. 21 にてご確認ください。

■ 選抜方法 ※出題科目・教科については本要項 P.18 にてご確認ください。

< 自由選択試験 >

解答した 50 問の得点により合否判定を行います。

※ 一般選抜入試（2 期）における出身学校調査書等の取り扱いについては参考程度とします。

※ 令和 7 年度一般選抜入試については、旧課程履修者に配慮して出題いたします。

一般選抜入試 < 3期・3科目判定／2科目判定 >

■ 日程

出願期間 *郵送必着	試験日	合格発表	入学手続期間 *郵送必着
1月23日(木) ~ 2月18日(火)	2月22日(土)	2月28日(金)	2月28日(金) ~ 3月12日(水)

■ 試験当日のスケジュール

外国語、国語、選択科目の筆記試験は各 60 分です。

※ 集合時刻、時間割については受験票をご確認ください。

■ 出願要件

本要項共通事項 (P. 2) に記載されている「出願資格」の (1) ~ (8) のいずれかに該当する者。

■ 出願書類

1. 志願確認票
2. 出身学校調査書 ※1 ※2

■ 入学検定料

35,000 円 ※3

※1 学部の併願および複数回受験する場合、「出身学校調査書」は 1 通で結構です。「志願確認票」はすべて印刷し、同封してください。

※2 高等学校卒業程度認定試験（大検含む）の合格者は、合格成績証明書（厳封されたもの）を提出してください。

※3 複数回受験する場合、入学検定料が減額されます。ただし、この減額制度は一括して出願した場合のみ有効となります。詳細は本要項 P. 21 にてご確認ください。

■ 選抜方法 ※出題科目・教科については本要項 P.18 にてご確認ください。

< 3 科目判定 >

3 科目試験における外国語、国語、選択科目の総合得点により合否判定を行います。（3 科目を受験しなかった場合は、合否判定対象外とします）。

< 2 科目判定 >

3 科目試験における外国語、国語、選択科目より得点上位 2 科目の合計得点により合否判定を行います。（3 科目を受験しなかった場合は、合否判定対象外とします）。

※ 一般選抜入試（3 期）における出身学校調査書等の取り扱いについては参考程度とします。

※ 令和 7 年度一般選抜入試については、旧課程履修者に配慮して出題いたします。

一般選抜入試 ＜ 4期・自由選択試験 ＞

■ 日程

出願期間 * 郵送必着	試験日	合格発表	入学手続期間 * 郵送必着
2月19日(水) ～ 3月14日(金)	3月21日(金)	3月22日(土)	3月22日(土) ～ 3月26日(水)

■ 試験当日のスケジュール

自由選択試験の筆記試験は 90 分です。

※ 集合時刻、時間割については受験票をご確認ください。

■ 出願要件

本要項共通事項 (P. 2) に記載されている「出願資格」の (1) ～ (8) のいずれかに該当する者。

■ 出願書類

1. 志願確認票
2. 出身学校調査書 ※1 ※2

■ 入学検定料

35,000 円 ※3

※1 学部の併願および複数回受験する場合、「出身学校調査書」は 1 通で結構です。「志願確認票」はすべて印刷し、同封してください。

※2 高等学校卒業程度認定試験（大検含む）の合格者は、合格成績証明書（厳封されたもの）を提出してください。

※3 複数回受験する場合、入学検定料が減額されます。ただし、この減額制度は一括して出願した場合のみ有効となります。詳細は本要項 P. 21 にてご確認ください。

■ 選抜方法 ※出題科目・教科については本要項 P.18 にてご確認ください。

< 自由選択試験 >

解答した 50 問の得点により合否判定を行います。

※ 一般選抜入試（4 期）における出身学校調査書等の取り扱いについては参考程度とします。

※ 令和 7 年度一般選抜入試については、旧課程履修者に配慮して出題いたします。

一般選抜入試の出題教科・科目について

■ 一般選抜 1 期＜ 3 科目判定／2 科目判定 ＞

教科	出題科目	選択の必須	備考
外国語	「英語コミュニケーションⅠ（リスニングを除く）」	必須	外部検定スコア利用 p. 19 参照
国語	『現代の国語、言語文化（古文・漢文を除く）』	必須	
地理歴史	『歴史総合、世界史探究』	1 科目選択 （日程により 選択できる科目 が異なります）	
	『歴史総合、日本史探究』		
	『地理総合、地理探究』		A/B 日程のみ
公民	「公共」		A/B 日程のみ
	「政治・経済」		
数学	『数学Ⅰ、数学Ⅱ』		
商業	「簿記（工業簿記は含まない）」		A 日程のみ
情報	「情報Ⅰ」		A 日程のみ

※ 各科目の最高点は 100 点とし、総合得点は 3 科目判定の場合 300 点、2 科目判定の場合 200 点とします。

※ 試験時間は各科目 60 分間、解答方法はマーク方式です。

※ 簿記においては計算機能のみの電卓、そろばんの使用を可とします。（携帯電話、電子辞書等は不可）

■ 一般選抜 2 期・4 期＜ 自由選択試験 ＞

教科	出題科目	出題数	備考
外国語	「英語コミュニケーションⅠ（リスニングを除く）」	各 20 問 計 120 問	50 問を 選択解答
国語	『現代の国語、言語文化（古文・漢文を除く）』		
地理歴史	『歴史総合、世界史探究』		
	『歴史総合、日本史探究』		
公民	「政治・経済」		
数学	『数学Ⅰ、数学Ⅱ』		

※ 配点は各設問 2 点とし、最高点は 100 点（2 点×50 問）とします。

※ 試験時間は 90 分間、解答方法はマーク方式です。

※ 51 問以上解答した場合、減点となります。

■ 一般選抜 3 期＜ 3 科目判定／2 科目判定 ＞

教科	出題科目	選択の必須	備考
外国語	「英語コミュニケーションⅠ（リスニングを除く）」	必須	外部検定スコア利用 p. 19 参照
国語	『現代の国語、言語文化（古文・漢文を除く）』	必須	
地理歴史	『歴史総合、世界史探究』	6 科目より 1 科目選択	
	『歴史総合、日本史探究』		
	『地理総合、地理探究』		
公民	「公共」		
	「政治・経済」		
数学	『数学Ⅰ、数学Ⅱ』		

※ 各科目の最高点は 100 点とし、総合得点は 3 科目判定の場合 300 点、2 科目判定の場合 200 点とします。

※ 試験時間は各科目 60 分間、解答方法はマーク方式です。

■ 英語外部検定スコアの利用に関する取り扱いについて

英語外部検定スコアを、一般選抜1期および3期の英語科目（100点満点）の得点結果として換算することができます。（一般選抜2期および4期の自由選択試験では英語外部検定スコアを利用できません。）

英語外部検定のスコア利用を申請した受験生が、本学独自の英語試験を受験した場合には、英語外部検定スコアの換算点と比較し、どちらか一方の高い得点を合否判定に活用します。なお、本学の試験当日に英語科目を欠席した場合は、英語外部検定スコアの換算点を採用します。

換算点に関しては下記換算表を目安としてください。

英語外部検定スコア ⇒ 本学英語試験 点数換算表

換算点	実用英語 技能検定	GTEC®	ケンブリッジ 英語検定	TEAP	TOEIC® LR	TOEIC® LR&SW	TOEIC® Bridge LR	TOEIC® BridgeLR&SW	全国商業 高等学校協会 英語検定
90	1896～1939	860～911	132～134	195～209	445～495	985～1070	76～79	157～163	－
85	1852～	808～	129～	180～	390～	895～	72～	150～	－
80	1808～	756～	126～	165～	335～	805～	68～	143～	1級
75	1764～	704～	123～	150～	280～	715～	64～	136～	－
70	1720～	652～	120～	135～	225～	625～	60～	129～	－
65	1676～	600～	117～	－	210～	580～	56～	122～	－
60	1632～	548～	114～	－	195～	535～	52～	115～	2級

※複数の英語外部検定スコアを保持している場合は、点数換算表を参考に志願者自身においていずれかのスコアを選択し、当該スコアの証明書（コピーでも可）を出願時に提出してください。

※同一の外部検定を複数回受験した場合でも、別の受験回の各技能の最高点を合算することは出来ません。各受験回の合計得点のみが有効となります。

※換算表に無いスコアや、記載の無い英語外部検定であっても利用可能な場合があります。詳しくは入試広報課までお問い合わせください。

※各種検定スコアの証明書（コピーでも可）は、当該検定実施機関が発行したものに限りません。

※2022年4月1日以降に受験した英語外部検定のスコアのみ利用可とします。

一般選抜入試 大学入学共通テスト利用 < 1期／2期／3期 >

■ 日程

	出願期間 * 郵送必着	試験日	合格発表	入学手続期間 * 郵送必着
1 期	12月16日(月) ～ 2月 6日(木)	大学入学共通 テスト試験日 1月18日(土) 1月19日(日)	2月14日(金)	2月14日(金) ～ 2月21日(金)
2 期	2月 7日(金) ～ 2月20日(木)		2月28日(金)	2月28日(金) ～ 3月12日(水)
3 期	2月21日(金) ～ 3月 7日(金)		3月14日(金)	3月14日(金) ～ 3月20日(木)

■ 出願要件

1. 本要項共通事項(P. 2)に記載されている「出願資格」の(1)～(8)のいずれかに該当する者。
2. 令和7年度大学入学共通テスト(本学で指定した教科・科目)の受験者。

■ 出願書類

1. 志願確認票
2. 出身学校調査書 ※1 ※2

■ 入学検定料

10,000 円 ※3

※1 学部の併願および複数回受験する場合、「出身学校調査書」は1通で結構です。「志願確認票」はすべて印刷し、同封してください。

※2 高等学校卒業程度認定試験(大検含む)の合格者は、合格成績証明書(厳封されたもの)を提出してください。

※3 複数回受験する場合、入学検定料が減額されます。詳細は本要項P. 21にて確認してください。

■ 選抜方法

令和7年度大学入学共通テストの出題教科・科目のうち、本学が指定する教科・科目についての総合得点上位者より合格者を決定します。(本学が指定する科目を受験しなかった場合は、合否判定対象外とします)。

■ 出題教科・科目

教科	出題科目	1 期 3 科目判定	1 期 2 科目判定	2 期	3 期	備考
国語	『国語』	必須	必須	必須	2 教科 2 科目	●『国語』においては、 近代以降の文章のみ利用 ●『英語』においては、 リスニングの成績は 利用しない
外国語	『英語』	2 教科 2 科目	1 教科 1 科目	1 教科 1 科目		
地理歴史 ・ 公民	『歴史総合、世界史探究』 『歴史総合、日本史探究』 『地理総合、地理探究』 『公共、政治経済』					
	『数学Ⅰ』 『数学Ⅰ・数学A』 『数学Ⅱ、数学B、数学C』					

※ 各科目の最高点は100点とします。

※ 旧教育課程措置科目を受験する場合は、以下の科目から選択してください。

- ・ 地理歴史・公民：『旧世界史B』『旧日本史B』『旧地理A』『旧地理B』『旧現代社会』『旧政治・経済』
- ・ 数学：『旧数学Ⅰ』『旧数学Ⅰ・数学A』『旧簿記・会計』『旧情報関係基礎』

< 1期・3科目判定／300満点 >

[外国語]「地理歴史・公民」「数学」について、3教科・科目以上受験した場合は高得点の2教科・科目を合否判定に使用

< 1期～3期・2科目判定／200満点 >

「外国語」「地理歴史・公民」「数学」について、2教科・科目以上受験した場合は高得点の1教科・科目を合否判定に使用

一般選抜入試(大学入学共通テスト利用含む)の併願について

一般選抜入試（大学入学共通テスト利用含む）は最大 3 学部 の併願が可能です。

各選抜区分の併願方法は以下のとおりです。

■ 一般選抜入試

1 期	A 日程	3 科目判定	商・法・現代教養 から選択	2 日間で 最大 12 併願が可能 1 つの試験に対して入学検定料 35, 000 円 2 つ目以降の入学検定料は 1 併願ごとに +10, 000 円 ※ただし、一括出願した場合のみ有効
		2 科目判定		
	B 日程	3 科目判定		
		2 科目判定		
2 期 ・ 4 期	自由選択試験		商・法・現代教養 から選択	最大 3 併願が可能 1 つの試験に対して入学検定料 35, 000 円 2 つ目以降の入学検定料は 1 併願ごとに +10, 000 円 ※ただし、同一期に一括出願した場合のみ有効
3 期	3 科目判定		商・法・現代教養 から選択	最大 6 併願が可能 1 つの試験に対して入学検定料 35, 000 円 2 つ目以降の入学検定料は 1 併願ごとに +10, 000 円 ※ただし、一括出願した場合のみ有効
	2 科目判定			

■ 一般選抜入試 大学入学共通テスト利用

複数回受験する場合、2 回目以降は入学検定料がそれぞれ 5,000 円となります。

1 期	3 科目判定	商・法・現代教養 から選択	最大 6 併願が可能
	2 科目判定		1 つの試験に対して入学検定料 10,000 円 2 つ目以降の入学検定料は 1 併願ごとに +5,000 円
2 期 ・ 3 期	商・法・現代教養 から選択		最大 3 併願が可能
			1 つの試験に対して入学検定料 10,000 円 (1 期または 2 期出願済みの方は 5,000 円)
			2 つ目以降の入学検定料は 1 併願ごとに +5,000 円

特別選抜入試 < 卒業生子女 >

■ 日程

出願期間 * 郵送必着	試験日	合格発表	入学手続期間 * 郵送必着
11月8日(金) ~ 11月15日(金)	11月23日(土)	12月2日(月)	12月2日(月) ~ 12月13日(金)

■ 出願要件

1. 本学を卒業した者の子女であること。
2. 日本の高等学校（中等教育学校の後期課程を含む）を令和6年3月に卒業した者および令和7年3月卒業見込みの者で本学への入学を第一志望としている者。（専願）

■ 出願書類

1. 志願確認票
2. 出身学校調査書
3. 志望動機（本学 HP よりダウンロード）
※ 400 字以内で記述
※ ボールペンで自筆記入（消せるボールペン不可）
4. 父または母が、本学を卒業したことが証明できる書類（卒業証明書等）
5. 親子であることが証明できる書類（住民票等）

■ 入学検定料

35,000 円

■ 選抜方法

「書類審査（出身学校調査書等）」および「面接審査」との総合評価により合否判定を行います。

■ 入学者への特典

本学を卒業した者の子女は、入学金（26 万円）の減免制度があります。

■ 入学前教育

大学入学後の学びに向かうモチベーションを高めると共に、大学生としての課題や目的を発見できるよう入学手続完了者には「入学前教育」を実施します。

※ 実施時期は令和7年1月～3月を予定しています。詳細は入学手続時にご案内します。

特別選抜入試 < 帰国子女試験 >

■ 日程

出願期間 * 郵送必着	試験日	合格発表	入学手続期間 * 郵送必着
11月20日(水) ~ 12月6日(金)	12月14日(土)	12月17日(火)	12月17日(火) ~ 12月25日(水)

■ 出願要件

日本の国籍を有し、保護者の海外在留にともなって外国の教育を受け、次のいずれかに該当する者。

- ① 外国において2年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受け、その課程を修了見込みの者、または修了後2年未満の者。
- ② 外国において2年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受け、日本の高等学校に編入後1年未満で卒業見込みの者。
- ③ 国際バカロレア (IB) 資格、バカロレア資格またはアビトゥア資格等を有する者で、令和7年4月1日までに満18歳に達する者。

※外国に設置された学校で日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した場合、その期間は外国において教育を受けたこととみなしません。

※この制度による本学への受験は1回限りとします。

■ 出願書類

1. 志願確認票
2. 自己PR (本学HPよりダウンロード)
 - ※ 日本語で、800字程度で記述
 - ※ ボールペンで自筆記入 (消せるボールペン不可)
3. 証明書類 (外国語のものは日本語訳も提出してください)
 - ・ 出願要件①の場合
外国での2年以上の在籍が証明できる成績証明書および修了 (見込み) 証明書。
 - ・ 出願要件②の場合
外国での2年以上の在籍が証明できる成績証明書および日本の高等学校の調査書。
 - ・ 出願要件③の場合
〈国際バカロレア資格〉IB最終試験6科目の成績証明書およびDIPLOMAの写し。
〈バカロレア資格〉成績証明書および資格証明書の写し。
〈アビトゥア資格〉アビトゥア最終試験4科目の成績証明書およびアビトゥア資格証明書の写し。
4. 保護者の「海外在留証明書」

■ 入学検定料

35,000 円

■ 選抜方法

「書類審査」および「面接審査」との総合評価により合否判定を行います。

特別選抜入試 ＜ 社会人 ＞

■ 日程

11月20日(水) ～ 12月6日(金)	12月14日(土)	12月17日(火)	12月17日(火) ～ 12月25日(水)
----------------------	-----------	-----------	-----------------------

■ 出願要件

1. 中央学院大学の教育理念およびアドミッションポリシーを理解し、本学への入学を第一志望とする者。**(専願)**
2. 日本の高等学校または中等教育学校を令和5年3月以前に卒業した者。
3. 社会人としての経験と大学での勉学を将来に生かすことに意欲的である者。

■ 出願書類

1. 志願確認票
2. 出願シート（本学 HP よりダウンロード、A4 サイズ・片面印刷）
3. 出身学校調査書

■ 入学検定料

35,000 円

■ 選抜方法

「書類審査」：(1) 出願シート (2) 出身学校調査書
「面接審査」

特別選抜入試 < 編入学試験 >

■ 日程

出願期間 * 郵送必着	試験日	合格発表	入学手続期間 * 郵送必着
11月20日(水) ~ 12月6日(金)	12月14日(土)	12月17日(火)	12月17日(火) ~ 12月25日(水)

■ 出願要件

次のいずれかに該当する者。

1. 大学を卒業した者および2年次修了（見込み）の者。
2. 短期大学を卒業した者および令和7年3月卒業見込みの者。
3. 専修学校専門課程を修了した者および令和7年3月修了見込みの者。
（修業年限が2年以上であり、課程の修了に必要な総授業時数が1,700時間以上であること）

■ 出願書類

1. 志願確認票
2. 事前課題小論文（本学 HP よりダウンロード）
 - ※ 本学 HP 掲載の複数のテーマの中から1つを選択し、800字程度で論述。
 - ※ ボールペンで自筆記入（消せるボールペン不可）
3. 卒業証明書または修了証明書
 - ※ 在学中の者は、卒業見込証明書または修了見込証明書を提出してください。
 - ※ 大学2年次修了（見込み）の者は、在学証明書に代えることも可能です。
 - ※ 卒業（修了）見込証明書または在学証明書を提出した場合、卒業（修了）証明書の提出が必要となります。
 - ※ 専修学校専門課程を修了した者および令和7年3月修了見込みの者は、課程の修業年限2年以上であり、修了に必要な総授業時数が1,700時間以上であることを証明する書類も併せて提出してください。
4. 単位修得証明書
 - ※ 在学中の者は、当該制度の履修内容が確認できる書類（履修証明書等）も併せて提出してください。
5. 出身大学・専門学校のシラバス

■ 入学検定料

35,000 円

■ 編入学年

原則として3年次（認定される単位数によっては2年次の場合もあります）

■ 選抜方法

「書類審査」および「面接審査」との総合評価により合否判定を行います。

商学部商学科の教育理念と3つのポリシー

教育理念

公正な社会観と倫理観の涵養をめざし、徹底した少数教育を通じて実力と創造力をそなえた有能な社会人を育成することを目的とする。

本学は、単なる知識の伝達ではなく、人間を基調とした全人格の形成を求め「公正な社会観と倫理観の涵養をめざし、徹底した少数教育を通じて実力と創造力をそなえた有能な社会人の育成」を目的としています。時代が大きく変わろうとしている今、社会も、そして大学自体も変わっていかなくてはなりません。その様な状況のもと、教育理念という普遍的テーマをベースに、高度に多様化していく時代に対応すべく、より具体的に進化した教育プログラムを構築し、学生の個性や可能性を大きく伸ばしていくことを教育の原点としています。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

中央学院大学商学部は、大学建学の精神と大学・学部教育理念に基づいて、公正な社会観と倫理観をそなえた人材を育成する学部です。流通、サービス、情報通信、製造、金融などのさまざまな業界で活躍するビジネスパーソンや、教育や行政の分野で活躍する教員、公務員などを育成します。

本学部は、編入学などの例外的な場合を除いて、4年以上在籍し、以下の1～6の能力を身につけるとともに、所定の126単位以上を修得した者に対して、学士（商学）の学位を授与します。

1. 幅広い知識と教養：公正な社会観と倫理観の基盤となる、人間・自然・文化に関する幅広い知識と教養を身につけている。
2. 専門的学識：商学および関連領域の専門的知識と当該領域において求められる思考力を身につけている。
3. 問題発見力・解決力：商学および関連領域の知見を用いて課題を見定め、必要な情報を収集し、整理・分析して解決してゆく能力を身につけている。
4. 多様性の理解とコミュニケーション能力：多様な背景をもつ他者や異文化の理解に努め、コミュニケーションを通して他者との協働を進めていく能力や態度を身につけている。
5. 汎用的な能力：情報通信技術をはじめとした多様な手段を用いて情報を収集・分析し、論理的な判断に基づいて効果的に活用することにより、現代社会のさまざまな課題に対応できる能力を身につけている。
6. 地域連携・社会貢献：地域社会や参画するネットワークの一員としての責任や役割を認識し、商学および関連領域の知見を用いてそこに貢献する能力や態度を身につけている。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

中央学院大学商学部は、「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）に掲げる能力などの修得のため、以下のような体系的な教育課程を編成・実施します。

1. 教育課程の編成方針

- (1) 幅広い知識と教養：幅広い知識と教養を養うために、人文・自然系科目を設置します。特に学びの基本となる必修科目は第1学年に、選択科目は第1学年から第4学年まで適宜受講できるよう配置します。
- (2) 専門的学識：商学および関連領域の専門的学識を養うために、商学系科目を設置します。商学の基本に関わる科目は第1学年に配置し、商学の各領域に関わる科目は第2学年以降に、各コースの選択必修科目と自由選択科目として配置します。
- (3) 問題発見力・解決力：問題発見力・解決力を養うために、演習形態の科目を設置します。第1学年に通年の必修科目を配置し、第2学年以降に通年の演習科目を配置します。
- (4) 多様性の理解とコミュニケーション能力：多様性の理解とコミュニケーション能力を養うために、外国語科目、日本語科目、体育科目を設置します。外国語科目は第1学年と第2学年の必修科目として、日本語科目と体育科目は第1学年の必修科目として配置します。
- (5) 汎用的な能力：情報通信技術を利用し、情報を適切に分析・発信できる能力を養うために、情報リテラシーや情報処理、AIやデータサイエンスに関する科目を設置します。
- (6) 地域連携・社会貢献：地域連携・社会貢献の能力や態度を養うために、キャリアデザインやボランティアに関する科目を設置します。また、特に教員養成のために教職科目も設置します。

2. 教育課程の実施方針

授業形態は、講義や演習（ゼミナール）等を適切に組み合わせ実施します。グループワークやディスカッション、プレゼンテーションなどの活動を科目の特性に応じて盛り込むことによって、学生が主体的・能動的に学ぶことができるようにします。また、シラバスでは、アクティブ・ラーニングなどの授業形式や各回に求められる予習・復習の内容を示し、教室内外の取り組み方について説明します。学修成果の評価は、シラバスに明文化した方法に基づいて行います。各科目のシラバスでは到達目標や評価方法などをあらかじめ示し、それらの基準に基づいて客観的に評価します。また、成績評価に関する問い合わせの期間を設け、評価の透明性を担保します。

アドミッション・ポリシー（入学受入れの方針）

1. 求める入学希望者像

商学部は、本学の建学の精神である「公正な社会観と倫理観の涵養」のもとで、学部の教育の理念として、商学を基盤におき、現代社会の課題に主体的に取り組む意志をもつ、「実力と創造力をそなえた有能な社会人の育成」を目指します。

このような有能な社会人を育成するために、次のような入学希望者を求めます。

- (1) 基礎的学力と専門知識修得の意欲
商学および関連領域の専門知識を身につけるために必要な「学力の3要素」（「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）の基礎を有し、それらの学問に関心をもって、それらの専門知識を修得したいという意欲がある。
- (2) 幅広い知識修得の意欲
高等学校までの学修により、人文、自然、社会、言語、スポーツなど幅広い分野・領域に関心があり、それらをより深く理解したいという意欲がある。
- (3) 地域貢献・社会貢献の意欲
幅広い知識と教養、商学および関連領域の専門的学識を身につけ、それらをもとに身近な地域から世界まで広く社会に貢献したいと考えている。

2. 入学希望者の基本方針

商学部では、「1. 求める入学希望者像」に合致する入学希望者を選抜するために、次の入学希望者選抜を実施します。

- (1) 一般選抜
大学独自の学力試験、大学入学共通テストなどを中心とする選抜。
- (2) 学校推薦型選抜
書類審査、面接、小論文などを中心とする選抜。
- (3) 総合型選抜
書類審査、面接などを中心とする選抜。

法学部法学科の教育理念と3つのポリシー

教育理念

人権感覚の育成と共生意識の確立とをめざし、専門教育と人間教育のバランスのとれた全人教育を施すことにより、法的素養と良識とを備えた有能な社会人を育成することを目的とする。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

中央学院大学法学部は、大学建学の精神と教育理念に基づいて、法や政治・行政に関する専門的・体系的な研究・教育を通じて現代社会への理解を深めること、およびその学習成果を活かして、有能な公務員（国家公務員・自治体職員・警察官・消防官・教員など）をはじめとして社会の様々な分野で活躍できる人材を育成することを目的とする学部です。

本学部は、編入学などの例外的な場合を除いて、4年間以上在籍し、以下の1～6の能力などを身につけるとともに、所属するコースの卒業所要単位表に従って127単位以上を修得した者に対して、学士（法学）の学位を授与します。

1. 幅広い知識と教養：人間・自然・文化に関する幅広い知識と教養をもった市民として、自己管理能力や生涯学習への関心を含めて社会において幅広く活躍できる能力や態度を身につけている。
2. 専門的学識：法学部の専門科目（法学系科目、政治学・行政学系科目）および各コース独自の科目に関する専門的知識と論理的な思考力を有するとともに、バランスのとれた高い見識をもって社会で活躍できる能力を身につけている。
3. 問題発見力・解決力：法や政治・行政などに起因する社会の問題を発見し、必要な情報を収集し、整理・分析して解決してゆく能力を身につけている。
4. 多様性の理解とコミュニケーション能力：多様な背景をもつ人間や異文化を受け入れるとともに自らの考えを表現し、チームワークにおけるリーダーシップなど他者との協働を進めてゆく能力や態度を身につけている。また、適切な言語を使用して、多文化圏の人々とのコミュニケーションを図る能力を身につけている。
5. 汎用的な能力：情報通信技術をはじめとした多様な手段を用いて情報を収集・分析し、それらを論理的な判断に基づいて効果的に活用することにより、現代社会のさまざまな問題に対応できる能力を身につけている。
6. 地域連携・社会貢献：法や政治・行政などに関する専門的知識やバランスのとれた高い見識を活かしながら、社会や組織の一員としての責任や役割を認識し、人権感覚・共生意識をもって地域社会に貢献する能力を身につけている。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

中央学院大学法学部は、「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）に掲げる能力などの修得のため、以下のように体系的な教育課程を編成・実施します。

1. 教育課程の編成方針

中央学院大学法学部では、公務員をはじめとして社会の様々な分野で活躍できる人材を育成するため、5つのコースを設置しています。本学部の学生は、第1学年より下記5コースのうちのいずれかに所属し、そのコースの体系的な教育課程に沿って学びます。各コースは、法学部の基本的コンセプトと本学部の教育理念を共有した上で、それぞれ独自に、卒業後にふさわしい進路やそのための教育方針・教育体系を持ち、法学系科目や政治学・行政学系科目と各コース独自の必修科目・選択必修科目を組み合わせた特色あるカリキュラムを展開しています。

- ・司法コースは、裁判所事務官などの国家公務員や地方公務員などの育成を目指し、法的思考力を育む法学系科目により構成されるコース必修科目などを設置しています。
- ・行政コースは、都道府県庁や市役所などの行政職員や警察官などの養成のため、法学系科目とともに、政治学・行政学系科目を学修するコース必修科目などを設置しています。
- ・ビジネスキャリアコースは、企業法務で活躍できる人物、経営者の後継者、および起業家などの養成のため、企業法などを学修するコース必修科目などを設置しています。
- ・フィールドスタディーズコースは、社会科系教員などの育成のため、法学・政治学系科目の他にフィールドワーク（実地調査）や非営利組織のあり方を学修するコース必修科目などを設置しています。
- ・スポーツシステムコースは、スポーツの指導者や警察官、消防官などを養成するため、法学系科目やスポーツ行政などを学修するコース必修科目などを設置しています。

- (1) 幅広い知識と教養：教養系科目において、人間・自然・文化に関する幅広い知識と教養を身につけます。また、大学における学修の基礎を学ぶ第1学年の演習科目を必修とし、大学で学んでいく際に必要となるスキルや考え方、就職支援行事と連携した就職への意識付けのための自己分析の実施など、幅広い知識と教養を身につけます。
- (2) 専門的学識：コース必修科目、コース選択必修科目、演習科目、および社会科学系科目を5コースごとに設置します。これらの科目において、法学部の専門科目（法学系科目、政治学・行政学系科目）および各コース独自の科目に関する専門的知識を学修するとともに、論理的思考力やバランスのとれた高い見識を養います。各コースとも、第1学年に基礎的な学修内容を学びます。第2学年以降は学年が上がるとともに、より専門的に学びを深めます。
- (3) 問題発見力・解決力：コース必修科目、コース選択必修科目、演習科目、および社会科学系科目を5コースごとに設置し、これらの科目において、法や政治・行政などに起因する社会の問題を発見し解決する力を涵養します。
- (4) 多様性の理解とコミュニケーション能力：演習科目、学部共通必修科目（日本語科目）、外国語科目、および体育科目において、多様性を理解し他者との協働を進めてゆく能力や態度を身につけるとともに、コミュニケーション能力を向上させます。学部共通必修科目（日本語科目）や体育科目は第1学年の必修科目などとして学びます。外国語科目は第1学年と第2学年の必修科目などとして学びます。
- (5) 汎用的な能力：学部共通必修科目（日本語科目）、学部共通必修科目（情報処理科目）、およびAIやデータサイエンスに関する科目において、汎用的な能力を育みます。
- (6) 地域連携・社会貢献：コース必修科目、コース選択必修科目、演習科目、および社会科学系科目を5コースごとに設置し、これらの科目において、地域連携・社会貢献の能力を身につけます。

2. 教育課程の実施方針

学修方法に関しては、講義や演習（ゼミナール）等を適切に組み合わせた授業形態を展開するとともに、模擬裁判など司法制度や法への理解を深める体験学習、政治・行政に関する問題解決型学習（PBL）、実地調査に基づくゼミ論文の作成など、学生が主体的・能動的に学ぶことができるようにします。

学修成果の評価方法は、シラバスのなかに具体的に記載しています。シラバスでは、科目ごとの到達目標や評価方法を示しており、あらかじめ定められた多様な評価方法を用いて、客観的な基準で成績評価を行います。

1. 求める入学者像

法学部は、本学の建学の精神である「公正な社会観と倫理観の涵養」のもとで、学部の教育の理念として、「人権感覚の育成と共生意識の確立とを目指し、専門教育と人間教育のバランスのとれた全人教育を施すことにより、法的素養と良識とを備えた有能な社会人の育成」を目指します。このような有能な社会人を育成するために、次のような入学者を求めます。

（1）基礎的学力と専門知識修得の意欲

法学・政治学・行政学などの専門知識を身につけるために必要な「学力の3要素」（「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）の基礎を有し、それらの学問に関心をもって、それらの専門知識を修得したいという意欲がある。

（2）幅広い知識修得の意欲

高等学校までの学修により、人文、自然、社会、言語、スポーツなど幅広い分野・領域に関心があり、それらをより深く理解したいという意欲がある。

（3）地域貢献・社会貢献の意欲

幅広い知識と教養、法学・政治学・行政学などの専門的学識を身につけ、それらを基に身近な地域から世界まで広く社会に貢献したいと考えている。

2. 入学者選抜の基本方針

法学部では、「1. 求める入学者像」に合致する入学者を選抜するために、次の入学者選抜を実施します。

（1）一般選抜

大学独自の学力試験、大学入学共通テストなどを中心とする選抜。

（2）学校推薦型選抜

書類審査、面接、小論文などを中心とする選抜。

（3）総合型選抜

書類審査、面接などを中心とする選抜。

現代教養学部現代教養学科の教育理念と3つのポリシー

教育理念

公正な社会観と倫理観をそなえた自立した個人の育成をめざし、現代を生き抜くための教養教育を通じて、地域や社会、政治や経済との関わりの中にある自己を深く知り社会参画や社会貢献ができる市民を育成することを目的とする。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

中央学院大学現代教養学部は、大学建学の精神と大学・学部教育の理念に基づいて、公正な社会観と倫理観をそなえ、幅広い知識と教養を身に付け、学び得た知識や教養を柔軟に活用して、市民として活躍できる人材を育成することを目的とする学部です。本学部は、編入学などの例外的な場合を除いて、4年間以上在籍し、以下の1～6の能力などを身につけるとともに、「現代教養学部」の科目・配当表に従って124単位以上を修得した者に対して、学士（教養学）の学位を授与します。

1. 幅広い知識と教養：人間・自然・文化に関する幅広い知識と教養をもった市民として、学び得た知識や教養を柔軟に活用できる能力を身につけている。
2. 専門的学識：現代社会において生じている諸問題にアプローチする手段として、多岐にわたる専門的知識と思考力を身につけている。
3. 問題発見力・解決力：社会における自立した個人として、現代社会のあるべき姿を求め、社会との関わりの中で問題を発見し、情報収集・整理・分析を行うことができるとともに、解決方法を見出す力を身につけている。
4. 多様性の理解とコミュニケーション能力：現代社会の基底をなす多様な人間文化や異文化に対する理解を深め、他者との協調・協働が可能となるよう、メディア・コミュニケーションに対する理解とコミュニケーション能力を身につけている。
5. 汎用的な能力：現代社会において生じている諸問題の検討に際して、必要となる情報を適切に収集・分析でき、効果的な情報表現・発信する能力を身につけている。
6. 地域連携・社会貢献：現代社会における市民としての責任や役割を認識し、社会参画や社会貢献のための問題解決能力や専門知識・教養を活用できる能力を身につけている。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

中央学院大学現代教養学部は、「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）に掲げる能力や姿勢の修得のため、以下のような体系的な教育課程を編成・実施します。

1. 教育課程の編成方針

- (1) 幅広い知識と教養：高い専門性を身に着けるための専門教育科目の知的活動の土台となる幅広い知識と教養、論理的思考力および科学的思考力を養うために、基盤教育を設置します。特に学問の基礎を成す必修科目は第1学年および第2学年に、専門分野の基礎知識となる科目は第2学年以降に選択必修科目として配当します。
- (2) 専門的学識：専門教育を中心に身近な地域と積極的に関わる能力を高め、グローバルな視点から現代社会をとらえる能力、他者と協調・協働できるコミュニケーション能力を養うために、専門教育を設置します。専門教育は、基盤教育と専門教育の橋渡しとなる「専門基礎」と「現代社会と人間文化系」、「異文化とコミュニケーション系」という2系列4科目群からなる教育課程を編成し、第2学年以降に選択必修科目として配当し、専門性の高い知的活動によって、知の枠組みを自ら構築します。
- (3) 問題発見力・解決力：問題発見能力・解決力を養うために、問題解決型の実践的教育である演習形態のゼミナール科目を設置します。ゼミナール科目は、第1学年から第4学年まで全ての学年で通年の必修科目として配当し、学年が上がるとともにより専門的な学びを深めます。
- (4) 多様性の理解とコミュニケーション能力：多様性の理解とコミュニケーション能力を養うために、導入教育（私たちの生活とコミュニケーション、日本語科目）、言語スキル科目、健康スキル科目を設置します。導入教育および言語スキル科目のうち英語基礎科目は第1学年と第2学年の必修科目として、英語上級科目は第2学年以降の選択必修科目として、英語以外の言語スキル科目および健康スキル科目は第1学年以降の選択必修科目として配当します。
- (5) 汎用的な能力：情報通信技術を利用し、情報を適切に分析・発信・表現できる能力を養うために、導入教育（日本語科目）、情報スキル科目および自然の理解科目に数理・データサイエンス・AIに関する科目を設置します。情報スキル科目の基礎科目（情報リテラシー、情報処理論の基礎）は、第1学年の必修科目として配当し、情報スキル科目の応用科目（情報処理論、情報表現論）は第2学年から選択科目として、数理・データサイエンス・AIに関する科目は、第1学年から学べる選択必修科目として配当します。また、日本語による論理的思考力、口頭表現力、文章表現力を身につける科目を第1学年および第2学年の必修科目として配当します。
- (6) 地域連携・社会貢献：現代社会における市民としての責任や役割を認識し、社会参画や社会貢献のための問題解決能力や多岐にわたる知識・教養を活用できる能力を養うために、基盤教育、専門教育およびゼミナール科目を設置します。

2. 教育課程の実施方針

学修方法に関しては、講義や演習（ゼミナール）等を適切に組み合わせた授業形態を展開するとともに、現代社会の現状とその背景を深く理解するための外部講師を招いた特別講義、異文化を理解するための現地体験学習、ボランティア実習および実地調査等に基づく卒業論文・卒業研究の作成など、学生が主体的・能動的に学ぶことができるようにします。

学修成果の評価方法は、シラバスに具体的に記載しています。シラバスでは、科目ごとの到達目標や評価方法が示されており、あらかじめ定められた多様な評価方法を用いて、客観的な基準で成績評価を行います。また、成績評価に関する問い合わせの期間を設け、評価の透明性を担保します。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

1. 求める入学者像

現代教養学部は、本学の建学の精神である「公正な社会観と倫理観の涵養」のもとで、学部の教育理念としての「自立した個人が自己を深く知り、社会参画や社会貢献ができる市民の育成」を目指します。

このような有能な社会人を育成するために、次のような入学者を求めます。

(1) 基礎的学力と専門知識修得の意欲：

一人の市民としてどのような仕事にも通じる幅広い教養を身につけたいという意志をもち、現代社会において市民として活躍するために必要な「学力の3要素」（「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）の基礎を有し、それらの学問に関心をもって、それらの専門知識を修得したいという意欲がある。

(2) 幅広い知識修得の意欲

高等学校までの学修により、人文、自然、社会、言語、スポーツなど幅広い分野・領域に関心があり、それらをより深く理解したいという意欲がある。

(3) 地域貢献・社会貢献の意欲

幅広い知識と教養、現代社会に生起するさまざまな課題に関する専門的学識を身につけ、それらを基に身近な地域から世界まで広く社会に貢献したいと考えている。

2. 入学者選抜の基本方針

現代教養学部では、「1. 求める入学者像」に合致する入学者を選抜するために、次の入学者選抜を実施します。

(1) 一般選抜

大学独自の学力試験、大学入学共通テストなどを中心とする選抜。

(2) 学校推薦型選抜

書類審査、面接、小論文などを中心とする選抜。

(3) 総合型選抜

書類審査、面接などを中心とする選抜。



中央学院大学

あ び こ し く じ け

〒270-1196 千葉県我孫子市久寺家451

☐ 資料請求・入試に関するお問い合わせ

TEL: 04-7183-6516 [入試広報課]

CGU

検索

koho@cgu.ac.jp

中央学院大学は、公益財団法人大学基準協会による2021(令和3)年度大学評価(認証評価)の結果、大学基準に適合していると認定されました。

